

目 次

1. めざす学校像	2
2. 中期的目標	2
【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの評価】	2
*自己評価アンケートの結果と分析	
結果	2
分析	3
1 A評価とB評価による分析	
2 ポイントによる分析	
3 過去の年度との比較	
4 設問ごとの分析と具体的な改善方法	
*学校関係者評価委員会からの評価	5
3. 本年度の取り組み内容及び自己評価	6
資料	
①平成29年度 自己評価アンケート 集計結果	7
②A評価+B評価の推移 と 過去年度との比較	8
③100点方式 $\{(2A+B-C-2D)+200\}/4$ による推移 と 過去年度との比較	9
④資料②～③のまとめ	10

平成29年度 四天王寺羽曳丘高等学校 学校評価

1. めざす学校像

<p>四天王寺の創建者聖徳太子の仏教精神に基づき、全人教育による、教養と豊かな宗教的情操を備え、調和のとれた将来有為な人物を育成する高等普通教育を行なうことを目的とする。</p> <p>目標 1. 豊かな情操を備えた人間の育成。 2. 学習意欲の高揚と学力の向上。 3. 夢・希望を叶える進路指導。 4. 基本的生活習慣の確立。 5. ルールの順守と規範意識の高揚。</p>

2. 中期的目標

<p>1. 夢・希望を叶える進路指導。 (1) 学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行う。</p> <p>2. 基本的生活習慣の確立。 (1) 清掃活動の参加意欲の向上を図る。</p> <p>3. ルールの順守と規範意識の高揚。 (1) 公共のルールマナーを順守させる。 (2) 服装、頭髪を規定どおり守らせる。</p>

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの評価】

*自己評価アンケートの結果と分析 (平成29年12月実施)							
結果	パーセント	(資料①参照)					
	番号	設 問	A	B	C	D	番号
目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習等)が適切に計画・実施されている	82	18	0	0	1
	2	生徒会活動が活発に行われている	55	45	0	0	2
	3	部活動が活発に行われている	18	73	9	0	3
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	73	27	0	0	4
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取り組みが適切に実施されている	91	9	0	0	5
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	68	32	0	0	6
目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	64	36	0	0	7
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	59	41	0	0	8
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	55	45	0	0	9
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	59	41	0	0	10
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	86	14	0	0	11
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	50	50	0	0	12
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	23	77	0	0	13
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行っている	59	41	0	0	14
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	55	45	0	0	15
目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすように行われている	73	27	0	0	16
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	86	14	0	0	17
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	68	32	0	0	18
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	73	27	0	0	19
目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	59	36	5	0	20
	21	挨拶を励行させている	32	68	0	0	21
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	41	59	0	0	22
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	50	50	0	0	23
	24	保健室を適切に活用させている	50	45	5	0	24
	25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	36	64	0	0	25
目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	73	27	0	0	26
	27	公共のルールマナーを順守させている	50	50	0	0	27
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	45	50	5	0	28
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	73	27	0	0	29
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	68	32	0	0	30
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	45	55	0	0	31
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	59	41	0	0	32
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	55	45	0	0	33
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	68	32	0	0	34
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	59	41	0	0	35
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	64	36	0	0	36

分析				
1 A評価とB評価による分析（肯定評価）（資料②参照） A評価とB評価のパーセントの合計は、平均で99.4%であり、昨年度よりも1.3%上昇している。全体的に高い評価ではあるが、特に項目14、21、28、31では取り組みの成果もあって大幅に改善した。90%未満の項目はなく、教員が協力的重点目標を意識し活動した結果となっている。				
2 ポイント（100点方式）による分析（A評価からD評価までの割合を100点で表したもの）（資料③参照） 全体の平均を見ると、昨年度よりも今年度の方が、1.9ポイント結果は改善されている。90点以上は全項目の42%にあたる15項目、80点以上90点未満は56%で20項目という結果であった。80点未満は項目3のみで、閉校前の生徒数減少に原因があると考えられる。				
3 過去の年度との比較 (1) A評価とB評価（資料②参照） 全体で見ると昨年度よりも今年度の方が平均は若干上回っている。具体的に昨年度との比較では、プラス、マイナス5%以上で挙げてみると、項目14、21、28、31がよくなった。一方、5%以上悪くなった項目はなかった。評価としては今までで一番良い評価となっている。 (2) ポイント（100点方式）（資料③参照） 昨年度と比較すると、プラス、マイナス5ポイント以上で挙げてみると、項目14、23、28、36がよくなり、項目24のみが悪くなったという結果である。項目3については生徒数が少なくなったことが原因と考えられるが、全般的には改善されてきている。 (3) まとめ（資料④参照） 上記の資料②と③を1枚にまとめ表にした。				
4 設問ごとの分析と具体的な改善方法				
	番号	分析	具体的な改善方法	番号
目標1	1	概ね適切に計画・実施されている。	現状に甘んじることなく、生徒のニーズを確認しながらより一層内容の充実にも努める。	1
	2	概ね評価を得ている。	3学年揃っておらず、活発には活動できていない現状ではあるが、今後も毎朝の国旗・校旗の上げ下ろしや、被災地への支援募金や海外途上国への物資支援等のボランティア活動に地道に取り組んでいく。	2
	3	2学年であり、かつ、生徒数の減少により活発な活動は困難となり、改善の余地ありの評価となっている。	部員数も少なくなり公式試合にも参加できない状況にあるが、活発な文化クラブもある。今後でもできる範囲で応援をしていく。	3
	4	適切に計画・実施されている	世の中の動向や新しい情報にも目を向け、現代社会に即応した取り組みを行う。	4
	5	適切に計画・実施されている。	校長の「いじめは許さない」という明確な姿勢に加え、生徒の小さな変化も見逃さないという個々教員の姿勢を継続する。	5
	6	概ね評価を得ている。	主な仏教行事は、高校3年生の授戒灌頂会と礼拝となるが、生徒と共に真摯に取り組んでいく。	6
目標2	7	「教育課程」については、28年度と比べ評価が微減しているが、概ね「学習指導要領」に沿って生徒の実態等を踏まえたものという評価がなされている。	閉校まで教育課程そのものの変更はないので、それに則った「授業」の内容の充実をさらに目指していく。	7
	8	「時間割」については、28年度より評価の数値が上がっており、クラス時間割を優先しているので、特に問題はないという評価がなされている。	2学年とはいえ、分割授業が多くなり複雑な時間割になったが、今後もミスに注意し、生徒中心の時間割を心がける。	8
	9	各教科別の「年間の教育計画」については、28年度と比べA+B評価で100%であるものの、他の項目に比べB評価の割合が45%と大きく、若干問題があるという評価がなされている。	現状での「年間計画」を各教科でさらに検討し、生徒の実状に合わせて学習内容の定着を図る。	9
	10	「指導方法の工夫改善」については、28年度と比べ評価の数値が上がっているので、特に問題はないという評価がなされている。	指導方法の工夫・改善について、引き続き教科内で生徒の実態に合わせたより効果的、効率的な指導方法を考えていく。	10
	11	「公開授業」や「研究授業」については、特に問題はないと思われる。	「公開授業・研究授業」について、教科内の話し合いを深め、さらに充実を図る。	11
	12	Aが50%、Bが50%を占め、A+B評価で昨年度より3.4%向上しており、概ね良くできていると考えられる。	教員による授業参観を継続し、教科会議で授業内容改善についての議論を重ねる。また、授業参観週間に拘らず、お互いに授業を見学し、日々改善に努める。	12
	13	Aが20%程度、Bが残り70%を占め100%なので、概ね良く行われているが、A評価が低いのは補習などがコースにより差があることに原因があるのかもしれない。	項目14と密接に関連しているため、確認テストの不十分な生徒への指導、課題未提出生徒への指導を継続し、さらに徹底していく。	13
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを担任、教科担当を中心に、面談やアンケート、課題、小テストと様々なやってきた結果、着実に成果が数字に表れてきていると思われる。	学期毎に実施する家庭学習時間のアンケートを行うことにより、多少でも家庭学習の重要性が意識されるようになったのではないかと。最後の学年となる生徒たちにもアンケートを継続して行い、個々生徒の学習状況を把握する一助とし、さらにきめ細やかな学習指導に取り組む。	14
15	約60%がAを占めているので、特に問題はない。多くの授業が分割・少人数制で行われているからではないかと思われる。	講習など計画的に実施されていると考えられるので、さらに生徒の学力が向上するよう努力を継続する。	15	
目標3	16	70%以上がAで占められているので、概ね評価できる。	本校は生徒と教員の距離が近く、きめ細やかなアドバイスができています。また、進路カンファレンスで、高校3年生全員の進路志望の検討を年に2回行うことを始めたことで、各教員が生徒の進路についての理解を十分にした上でのアドバイスができるようになってきた。平成30年度もこの取り組みを継続する。	16
	17	80%以上がAで占められているので、概ね適切に計画・実施されている。	外部講師を招聘した講演も定着し、必要な時期に必要な情報を生徒に提供できている。「卒業生を囲む会」でも、現役大学生のみならず、社会人となった卒業生も招き、キャリア教育の一環とする取り組みを継続する。	17
	18	70%程度がAで占められており、概ね適切に行われていると考えられる。	当該学年の所属教員はもとより、学年外の教員も協力的、学校全体で補習を運営する。	18
	19	70%以上がAで占められているので、概ね適切に活用していると考えられる。	模擬試験の成績データは、客観的な重要資料となる。今後も担任がそれを用いて面談し、学習の方向性、進路決定の参考として十分に活用していく。最近では、各社が便利なアプリ等を出し、多面的な成績分析を行い進路指導に用いられつつあるので、そういうものについて情報を収集し、活用できるように研究・研修を重ねる。	19

目標4	20	朝学習の効果が反映されているのか、前年度からの改善が見られる。	遅刻や欠席が減少傾向にあるものの、生徒の様子を詳細に観察し、まめに家庭連絡をとったり、面談をしたりなどきめ細やかな指導に力を注ぐ。	20
	21	前年度から大きく改善した。	教員が率先して挨拶し、生徒の模範となり、更に定着させる。	21
	22	昨年と比較し、A+B評価が3.4%増え良くなっているが、100点方式で85.2とまだ低い。	美化委員による話し合いの機会やポスター掲示を増やし、美化意識の向上を図る。また、大掃除の重点項目の告知を徹底し、週末の点検を継続する。さらに、積極的に清掃活動に取り組む意識改革が必要。そのために教員も一緒に清掃し、的確な清掃指導に取り組む。クラスの一体感高揚に繋がればなお良い。	22
	23	昨年と比較しA+B評価の変化はあまりないが、努力の跡は窺える。	各クラスで清掃活動についての取り組みを考える。また、登校時、美化委員により清掃活動奨励を訴え、閉校まで1年となったが「ゴミが一つも落ちていない学校」を目指す。	23
	24	応急手当など臨機応変に対応しているが、更に利用しやすい環境の工夫が必要ではないか。	応急手当に止まらず、生徒が保健・衛生に関心を深めるように、様々な場面で保健室をより有効活用し、機能性を持たせる。	24
	25	多くの生徒が、自身の健康について関心を持っているが、保健部から健康保持・増進について、全体への働きかけが十分できていない。	生徒に有用な情報を発信し、さらに健康に対する重要性を認識させる。例えば、時期に適した委員会活動を通じて健康保持、増進の意識を高める。	25
目標5	26	問題行動の未然防止に取り組んできたため、かなりの評価を得ている。	問題行動については、保護者の協力も頂き、学校全体で日々注意喚起することが重要である。また、生徒が発する小さなシグナルに気付くためにも、今後も生徒のみならず保護者ともコミュニケーションをしっかりとっていく。	26
	27	概ね評価を得ている。	小さなルール違反も軽視せず、公共のルール・マナーをしっかりと身に付けさせるべく、こまめに注意、指導していく。	27
	28	生徒の理解が深まり、前年度と比べ大きく改善した。	日頃から学校全体で継続した指導に取り組まなければならない。特に女子の髪括り、化粧、男子の第1ボタンをしめるなど全教員が今後も徹底して声掛けし、ルールを順守させていかねばならない。	28
	29	概ね評価を得ている。	大半の生徒が自転車通学をしており、公共のルールマナーと同様、自転車運転マナーもきちんと身に付けさせるべく、今後も交通安全教育指導をしっかり行う。	29
学校運営	30	概ね有効かつ効率的に機能している。	職員会議をはじめ各種会議から得られた内容を共有、分析し、適切に教育活動に反映させる。	30
	31	概ね信頼関係に基づいて教育活動が行われており、前年度と比べて大幅に改善されている。	報告・連絡・相談を常に意識し、行動に移す。また、挨拶などを励行し、教員相互のコミュニケーションの向上を積極的に図る。	31
	32	概ね達成できている。	教科の枠を超えた授業参観回数を増やす。また、公開授業の反省をきっちりやり、生徒の理解を深める指導スキルの向上に努める。	32
	33	可能な範囲の情報を公開している。十分な活用がなされていると判断できる。	さらに速やかな情報の公開をすれば、評価が向上すると考えられる。次の課題として、閉校後にどのようなデータを残し、Webページとして公開するのかを検討する必要がある。	33
	34	概ね整いつつある。	研修や研究に参加して得た知識・スキルをできるだけ速やかに公開する。また、添付資料の要点なども加筆し、工夫を凝らしてわかりやすい報告書を作成する。	34
	35	概ね整いつつある。	各種会議で発表の機会を持ち、研修内容を教科指導や生徒指導に反映する。	35
	36	前年度より評価は向上している。概ね適切に行われている。	前年度より防災意識は向上しているが、不測の事態に備えて、強制的にでも「安全」・「迅速」をテーマに訓練に取り組む必要がある。	36

*学校関係者評価委員会からの評価 (本年度の重点目標を2学期初めに報告し、3学期終わりに自己評価の結果を渡し、評価をしていただいた。)	
目標1	・校外活動は学年に応じた内容で実施されている。部活動においても、外部との連携を取り、継続できる配慮がなされている。
	・校外活動は生徒数が少ないことに配慮し、実施されていると思う。
	・生徒数が少ない為、部活動が十分できないことを残念に思う。
	・修学旅行は生徒がしっかり楽しめ、そして、学習できる内容だった。
	・生徒数が少なくなり、部活動など十分に活動できないかもしれないが、高校生活の良い思い出をたくさん作ってほしい。
目標2	・学習面において、生徒が意欲的に取り組めるよう工夫されている。
	・学習面は手厚く、きめ細やかに指導していただいていると思う。
	・学習面の指導には満足している。
目標3	・進路指導において、先生からのアドバイスや生徒の希望に沿った指導がなされている。
	・進路に対して早くから指導されている。面談においてもいろいろアドバイスしていただき満足している。
	・外部模試に行かせて頂き、学校以外での学力がわかるので、いい取り組みだと思う。
目標4	・挨拶などの礼儀について、徹底した指導がなされている。
	・清掃活動において、環境に対する意識付けを行っている。
	・挨拶は一部の生徒しかしないように思う。
	・挨拶については、生徒たちはいつも気持ちよくしてくれる。
目標5	・服装・頭髪の指導が適切になされている。
	・生活指導面に関しては、他校と比べてもしっかり取り組み、指導が行き届いている。
学校運営	・ホームページで情報公開がなされ、学校の様子がよくわかり、内容も充実している。
	・先生方は学校運営に積極的に取り組み、頑張っている。

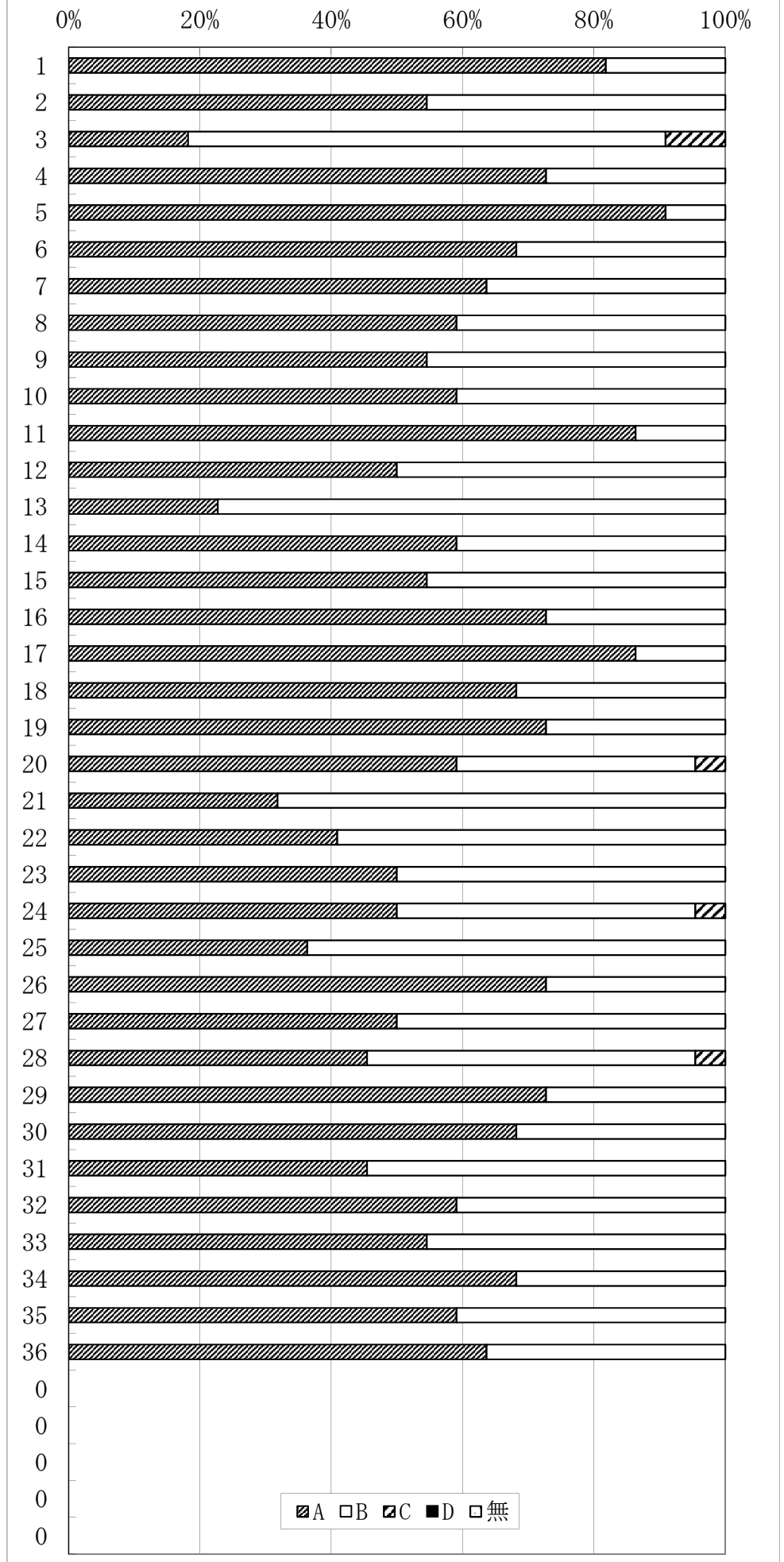
3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
1・夢・希望を叶える進路指導	昨年度の「学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制を整える」については十分に成果があった。しかし、まだ不十分であったもう1点「学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行う」を継続して重点目標とする。	ア. 国・数・英を中心に計画的かつ継続的に各コースで課題を与え、提出を徹底させる。 イ. 家庭学習を促すような小テスト（復習・課題について）を各コースで原則週1回は実施する。 *小テスト、課題で学習不十分な生徒に対しては、放課後の居残り学習を行わせる。 ウ. 各クラスで学期に2回、1週間の家庭学習時間を生徒に記録させて状況を把握する。 エ. 各担任が面談を通じて家庭学習の推奨を行う。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上) ・自己評価のポイント (100点方式で80点以上)	取り組みに対する結果は以下のものである。 ア. イ. 小テスト・課題の実施率は、国語科(100%・100%)、社会科(75%・50%)、数学科(50%・50%)、理科(50%・100%)、英語科(100%・100%)という結果であった。 ウ. 生徒の家庭学習時間アンケートの結果は、2学期は10.7時間(1週間)で、3学期は12.1時間(1週間)であった。やや増加したという数字である。 エ. 各担任による奨励率は100%生徒に奨励を図ったというアンケート結果である。 次に自己評価のパーセンテージは、肯定評価(A+B)が100%で、ポイント方式でも100点となっている。 小テスト・課題の実施率が100%ではない教科もあるが、週2時間の科目、教科の特性などが原因とも考えられる。 自己評価のパーセント・ポイント共に指標は十分に満たされているので、教員の努力はあったことが認められる。また、生徒の実際の家庭学習時間も改善に向かったと考えられる。(○)
2・基本的な生活習慣の確立	昨年度の「清掃活動の参加意欲の向上を図っている」は評価指標における目標は達成できたが、自己評価ではB評価が多めで、さらなる向上を目指し、今年度も重点目標とする。	ア. 清掃活動を奨励するポスターを昨年度より多く掲示する。 イ. 毎週火曜の清掃時に美化委員が1週間の清掃目標を放送 ウ. 毎週土曜日に生徒と教員による校内清掃点検を行う。(清掃チェック表を作成し、清掃分担ごとに提出) エ. 美化委員に活動についてのアンケートを行い、実態を把握し問題の改善に役立てる。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上) ・自己評価のポイント。 (100点方式で80点以上) ・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の結果を上回る)	取り組みに対する結果は以下の通りである。 ア. ポスター掲示について、取り組み内容を十分に実行できた。 イ. 毎週、校内放送を行い清掃意識の向上に努めた。 ウ. アンケートの結果、担当教員全員が点検を確実に行った。 エ. 5点満点のアンケートを行った結果：①教室清掃が綺麗に行えた(3.6)②トイレ清掃が綺麗に行えた(4.1)③廊下・階段清掃が綺麗に行えた(3.8)④その他、今年度の取り組みに対する記述式のアンケートも行った。 次に教員による自己評価のパーセンテージは、肯定評価(A+B)が100%で昨年と同じ結果であり、ポイント方式でも87.5点で昨年度よりも5.6点上昇している。しかし、卒業生アンケートでは、今年度78.2%、昨年度82.4%で-4.2%で若干落ちている。 全体的に見ると、校舎の老朽化などのマイナスイメージも卒業生アンケートに影響があるのかもしれないが、自己評価の目標は両方十分に達成しているし、計画された取り組みは確実に実行された。(○)
3・ルールの順守と規範意識の高揚	昨年度の「服装、頭髪を規定どおり守らせる」は、評価指標を満たすことはできたが、評価指標をさらに上げて今年度も継続する。また、自己評価でB評価が多かった「公共のルールマナーを順守させている」を本年度の重点目標に加える。	ア. 生徒登下校時、校門で当番やその他の教員が立ち、服装、頭髪をチェックする。 イ. 毎月の一斉服装、頭髪検査での指導の強化。 ウ. 生徒会からの教室掲示プリント等による啓蒙活動。 エ. 各教員の生徒への注意の徹底。 オ. 風紀委員による生徒登校時、校門での啓蒙活動。 カ. 各学年の生徒指導係によるマナー教育。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価90%以上) ・自己評価のポイント。 (100点方式で80点以上) ・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の結果を上回る)	取り組みに対する結果は以下の通りである。 ア. イ. エ. カ. のアンケート結果は、100%実施できたという結果であった。 ウ. 生徒会の生徒による掲示により啓蒙活動を実施できた。 オ. 朝、風紀係が校門に立ち登校する生徒へ呼びかけ、挨拶の運動をした。 次に教員による自己評価のパーセンテージは、「服装、頭髪を規定通り守らせる。」については、肯定評価(A+B)が95.5%で昨年度よりも5.8%上昇している。ポイント方式でも84.1点で昨年度よりも9.1点とかなり改善されている。卒業生アンケートでは、今年度84.2%、昨年度87.0%で-2.8%となっている。次に、「公共のルールマナーを順守させている」では、肯定評価(A+B)が100%で昨年度よりも3.4%上昇している。ポイント方式でも87.5点で昨年度よりも4.7点と上昇している。卒業生アンケートでは、今年度86.1%、昨年度90.7%で-4.6%となっている。 全体的に見て、卒業生アンケート結果はわずかに下がったが、自己評価のパーセント、ポイント方式両方で目標値を越えることができた。多岐にわたる取り組みを継続的に行うことで、改善されたと考えられる。(○)

平成29年度 自己評価アンケート 【高校】 集計結果

資料①

設問	A	B	C	D	無
1	18	4			
2	12	10			
3	4	16	2		
4	16	6			
5	20	2			
6	15	7			
7	14	8			
8	13	9			
9	12	10			
10	13	9			
11	19	3			
12	11	11			
13	5	17			
14	13	9			
15	12	10			
16	16	6			
17	19	3			
18	15	7			
19	16	6			
20	13	8	1		
21	7	15			
22	9	13			
23	11	11			
24	11	10	1		
25	8	14			
26	16	6			
27	11	11			
28	10	11	1		
29	16	6			
30	15	7			
31	10	12			
32	13	9			
33	12	10			
34	15	7			
35	13	9			
36	14	8			



自己評価アンケート A+B

資料②

表①は

A+B (%表示)

になります。

①

設問	H29年度	H28	H27	H26	H25
1	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
2	100.0	100.0	100.0	94.7	95.3
3	90.9	93.1	78.8	78.9	81.4
4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5	100.0	100.0	100.0	100.0	
6	100.0	96.6	100.0	97.4	97.7
7	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
8	100.0	96.6	97.0	100.0	95.3
9	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
10	100.0	100.0	100.0	94.7	93.0
11	100.0	100.0	97.0	100.0	97.7
12	100.0	96.6	93.9	86.8	88.4
13	100.0	100.0	90.9	84.2	83.7
14	100.0	93.1	78.8	92.1	88.4
15	100.0	100.0	100.0	100.0	93.0
16	100.0	100.0	93.9	100.0	95.3
17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18	100.0	100.0	97.0	94.7	95.3
19	100.0	100.0	97.0	97.4	93.0
20	95.5	93.1	78.8	84.2	90.7
21	100.0	93.1	90.9	89.5	90.7
22	100.0	96.6	90.9	92.1	90.7
23	100.0	100.0	93.9	97.4	93.0
24	95.5	100.0	100.0	100.0	100.0
25	100.0	100.0	93.9	100.0	100.0
26	100.0	96.6	97.0	94.7	93.0
27	100.0	96.6	93.9	81.6	86.0
28	95.5	89.7	87.9	68.4	67.4
29	100.0	100.0	97.0	94.7	93.0
30	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
31	100.0	93.1	93.9	92.1	93.0
32	100.0	100.0	100.0	100.0	95.3
33	100.0	100.0	100.0	100.0	95.3
34	100.0	100.0	100.0	97.4	100.0
35	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
36	100.0	96.6	97.0	97.4	90.7
37			100.0	100.0	100.0
38			100.0	100.0	97.7
39			97.0	100.0	93.0

平均	99.4	98.1	95.8	95.1	93.7
----	------	------	------	------	------

表②は

過去の年度 - 今年度

になります。

②

設問	H28-今	H27-今	H26-今	H25-今
1	0.0	0.0	0.0	-2.3
2	0.0	0.0	-5.3	-4.7
3	2.2	-12.1	-12.0	-9.5
4	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	
6	-3.4	0.0	-2.6	-2.3
7	0.0	0.0	0.0	-2.3
8	-3.4	-3.0	0.0	-4.7
9	0.0	0.0	0.0	-2.3
10	0.0	0.0	-5.3	-7.0
11	0.0	-3.0	0.0	-2.3
12	-3.4	-6.1	-13.2	-11.6
13	0.0	-9.1	-15.8	-16.3
14	-6.9	-21.2	-7.9	-11.6
15	0.0	0.0	0.0	-7.0
16	0.0	-6.1	0.0	-4.7
17	0.0	0.0	0.0	0.0
18	0.0	-3.0	-5.3	-4.7
19	0.0	-3.0	-2.6	-7.0
20	-2.4	-16.7	-11.2	-4.8
21	-6.9	-9.1	-10.5	-9.3
22	-3.4	-9.1	-7.9	-9.3
23	0.0	-6.1	-2.6	-7.0
24	4.5	4.5	4.5	4.5
25	0.0	-6.1	0.0	0.0
26	-3.4	-3.0	-5.3	-7.0
27	-3.4	-6.1	-18.4	-14.0
28	-5.8	-7.6	-27.0	-28.0
29	0.0	-3.0	-5.3	-7.0
30	0.0	0.0	0.0	0.0
31	-6.9	-6.1	-7.9	-7.0
32	0.0	0.0	0.0	-4.7
33	0.0	0.0	0.0	-4.7
34	0.0	0.0	-2.6	0.0
35	0.0	0.0	0.0	-2.3
36	-3.4	-3.0	-2.6	-9.3
37				
38				
39				

平均	-1.3	-3.8	-4.6	-6.0
----	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。37～39は今年度実施していない設問になります。

100点方式による推移表

資料③

表①は $\{(2A+B-C-2D)+200\}/4$ になります。

表②は 過去の年度 - 今年度 になります。

①

設問	H29年度	H28	H27	H26	H25
1	95.5	94.8	92.4	93.4	88.4
2	88.6	92.2	88.6	82.2	74.4
3	75.0	77.6	68.9	68.4	68.6
4	93.2	93.1	90.2	90.8	89.5
5	97.7	94.8	92.4	92.1	
6	92.0	87.9	93.2	89.5	89.5
7	90.9	91.4	88.6	88.2	82.6
8	89.8	88.8	87.1	87.5	82.0
9	88.6	92.2	87.9	88.8	87.8
10	89.8	86.2	82.6	81.6	82.6
11	96.6	94.0	86.4	86.2	84.3
12	87.5	88.8	82.6	77.0	76.2
13	80.7	80.2	75.0	69.1	67.4
14	89.8	81.9	68.9	73.7	70.9
15	88.6	87.1	84.1	84.9	79.1
16	93.2	91.4	89.4	89.5	84.3
17	96.6	93.1	94.7	92.1	91.3
18	92.0	90.5	87.1	84.2	84.9
19	93.2	89.7	87.9	86.2	81.4
20	87.5	84.5	75.0	75.0	78.5
21	83.0	81.0	78.0	77.0	77.3
22	85.2	82.8	76.5	79.6	75.6
23	87.5	81.9	78.0	78.9	74.4
24	85.2	90.5	86.4	84.9	83.7
25	84.1	86.2	78.0	80.9	80.2
26	93.2	89.7	86.4	83.6	76.7
27	87.5	82.8	80.3	69.1	69.8
28	84.1	75.0	73.5	59.2	58.7
29	93.2	90.5	83.3	82.2	80.2
30	92.0	88.8	84.1	84.9	84.3
31	86.4	85.3	77.3	78.3	78.5
32	89.8	89.7	86.4	86.8	80.8
33	88.6	87.1	86.4	84.9	81.4
34	92.0	87.9	84.1	85.5	86.6
35	89.8	86.2	85.6	85.5	81.4
36	90.9	85.3	81.1	82.2	75.6
37			88.6	87.5	87.8
38			88.6	86.2	84.3
39			83.3	81.6	76.7

平均	89.4	87.5	83.8	82.5	79.9
----	------	------	------	------	------

②

設問	H28-今	H27-今	H26-今	H25-今
1	-0.6	-3.0	-2.0	-7.1
2	3.6	0.0	-6.4	-14.2
3	2.6	-6.1	-6.6	-6.4
4	-0.1	-3.0	-2.4	-3.6
5	-2.9	-5.3	-5.6	
6	-4.1	1.1	-2.6	-2.5
7	0.5	-2.3	-2.8	-8.4
8	-1.0	-2.7	-2.3	-7.8
9	3.6	-0.8	0.2	-0.8
10	-3.6	-7.2	-8.2	-7.2
11	-2.6	-10.2	-10.4	-12.3
12	1.3	-4.9	-10.5	-11.3
13	-0.5	-5.7	-11.6	-13.2
14	-7.9	-20.8	-16.1	-18.8
15	-1.6	-4.5	-3.8	-9.6
16	-1.8	-3.8	-3.7	-8.9
17	-3.5	-1.9	-4.5	-5.3
18	-1.5	-4.9	-7.8	-7.2
19	-3.5	-5.3	-7.0	-11.8
20	-3.0	-12.5	-12.5	-9.0
21	-1.9	-4.9	-6.0	-5.6
22	-2.5	-8.7	-5.6	-9.6
23	-5.6	-9.5	-8.6	-13.1
24	5.3	1.1	-0.4	-1.5
25	2.1	-6.1	-3.2	-3.9
26	-3.5	-6.8	-9.6	-16.4
27	-4.7	-7.2	-18.4	-17.7
28	-9.1	-10.6	-24.9	-25.4
29	-2.7	-9.8	-10.9	-12.9
30	-3.3	-8.0	-7.2	-7.7
31	-1.0	-9.1	-8.1	-7.9
32	-0.1	-3.4	-2.9	-9.0
33	-1.6	-2.3	-3.8	-7.2
34	-4.1	-8.0	-6.5	-5.4
35	-3.6	-4.2	-4.2	-8.4
36	-5.6	-9.8	-8.7	-15.3
37				
38				
39				

平均	-1.9	-5.9	-7.1	-9.5
----	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。37～39は今年度実施していない設問になります。

評価項目	番号	設問	A+B		100点方式	
			%表示	前年との差	点数	前年との差
重点目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習等)が適切に計画・実施されている	100.0	0.0	95.5	-0.6
	2	生徒会活動が活発に行われている	100.0	0.0	88.6	3.6
	3	部活動が活発に行われている	90.9	2.2	75.0	2.6
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	100.0	0.0	93.2	-0.1
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取組が適切に実施されている	100.0	0.0	97.7	-2.9
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	100.0	-3.4	92.0	-4.1
重点目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	100.0	0.0	90.9	0.5
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	100.0	-3.4	89.8	-1.0
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	100.0	0.0	88.6	3.6
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	100.0	0.0	89.8	-3.6
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取組が、学校全体で行われている	100.0	0.0	96.6	-2.6
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	100.0	-3.4	87.5	1.3
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	100.0	0.0	80.7	-0.5
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取組を行っている	100.0	-6.9	89.8	-7.9
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	100.0	0.0	88.6	-1.6
重点目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすように行われている	100.0	0.0	93.2	-1.8
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	100.0	0.0	96.6	-3.5
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	100.0	0.0	92.0	-1.5
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	100.0	0.0	93.2	-3.5
重点目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	95.5	-2.4	87.5	-3.0
	21	挨拶を励行させている	100.0	-6.9	83.0	-1.9
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	100.0	-3.4	85.2	-2.5
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	100.0	0.0	87.5	-5.6
	24	保健室を適切に活用させている	95.5	4.5	85.2	5.3
25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	100.0	0.0	84.1	2.1	
重点目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	100.0	-3.4	93.2	-3.5
	27	公共のルールマナーを順守させている	100.0	-3.4	87.5	-4.7
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	95.5	-5.8	84.1	-9.1
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	100.0	0.0	93.2	-2.7
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	100.0	0.0	92.0	-3.3
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	100.0	-6.9	86.4	-1.0
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	100.0	0.0	89.8	-0.1
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	100.0	0.0	88.6	-1.6
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	100.0	0.0	92.0	-4.1
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	100.0	0.0	89.8	-3.6
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	100.0	-3.4	90.9	-5.6
	37					
	38					
39						

表の見方

数字	表示は
A+B	で90%未満
100点方式	で80点未満
A+B 前年の差	+5%以上
を表します。	
改善の余地がある項目 になります。	
数字	表示は
A+B 前年の差	-5%以下
100点 前年の差	-5点以下
を表します。	
前年度に比べ向上した 項目になります。	